

全校道徳「ジェンダー平等を実現しよう」

2022年11月11日(金)

「人権について考え、理解する」「ジェンダー平等への理解を深める」の2つを目的に、全校道徳の授業を行いました。講師は養護教諭の高井君江先生と上田真司校長先生です。

前半は高井先生が「**違いを認め合い、一人一人を大切に**」というテーマでお話をしました。絵本「くまのトーマスはおんなのこ」を通じ、「身体の性と心の性が一致しない人や違和感をもつ人、悩んでいる人がいること」「性の在り方はさまざまであり、人は等しく尊重される大切な存在であることから、差別につながるジェンダーは見直していくことが大切であること」などを伝えました。

後半は上田校長先生が「**一人一人が大切にされる学校を目指して**」という内容のお話をしました。

- ・学校は、授業をはじめ、先生や友達、先輩・後輩など多くの人との関わりを通し、将来、一人一人が自立してたくましく生きていくための学びの場であり、成長の場であること
- ・多くの生徒が前向きに充実した学校生活を送っている一方、人との関わりが苦手だったり、学校に登校できなかつたりする生徒もいる。生徒が将来自立して、たくましく生きていけるような支援を行い、「**誰一人取り残さない学校づくり**」を強力に推し進めようと考えていること
- ・「誰一人取り残さない」という考えは「持続可能な開発目標（SDGs）」の基盤となるものであり、この目標を実現するための根底となるゴールが「**ジェンダー平等を実現しよう**」だということ
- ・ジェンダー平等の実現に向けて、本校では「性別で分けない名簿や整列」「生徒本部役員選挙に男女関係なく立候補できるような改正」を行っており、今後も「これはおかしい」という視点を大切にしたい取り組みの展開を望むこと
- ・学校として、今後変えていく必要があると判断したことが「制服の問題」であり、「**多様性や利便性を兼ね備えた制服**」の導入を考えていること
- ・さまざまな取り組みを通して、生徒一人一人が「**未来の創り手**」となり、市川中が「一人一人が大切にされた、活気のある学校」となるようにがんばること

